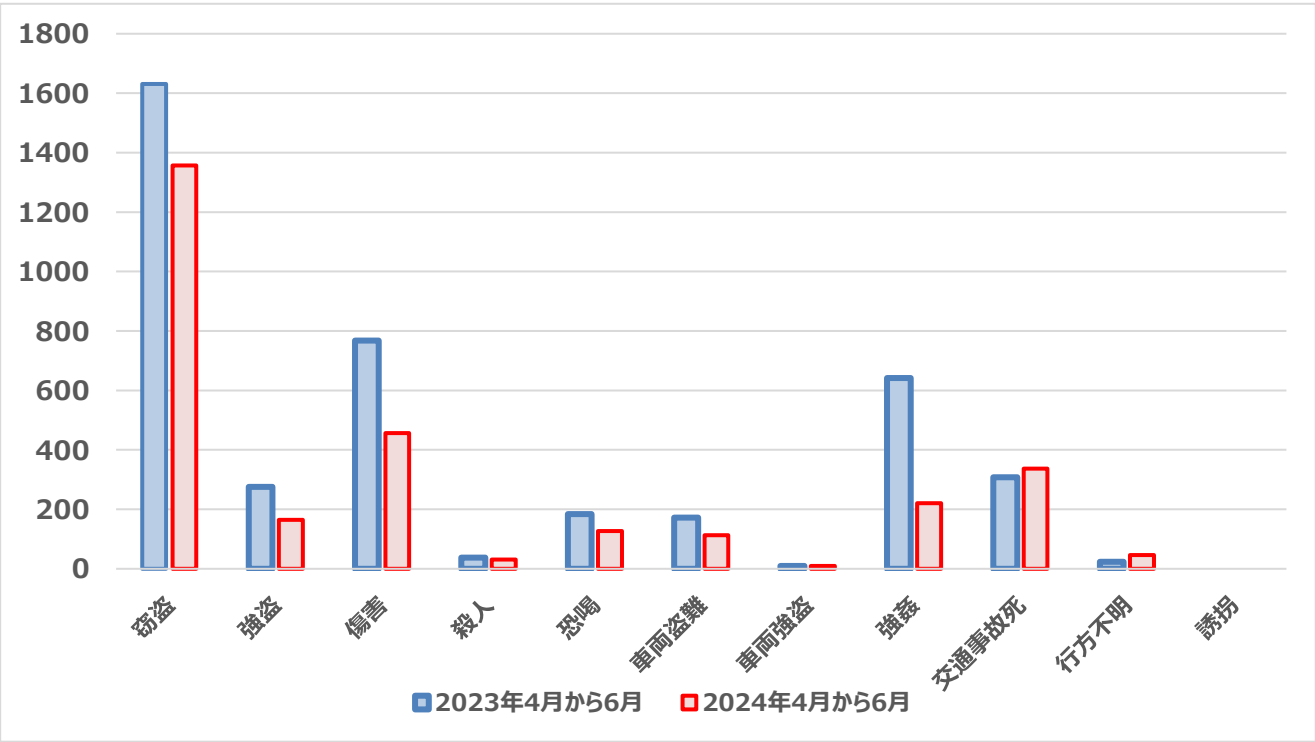


海外安全対策情報

1. 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

2024 年 4 月から 6 月におけるエルサルバドル国内での犯罪統計は以下のとおりです。

	2023 年 4 月から 6 月	2024 年 4 月から 6 月	前年差
窃盗	1,631	1,357	-274
強盗	276	165	-111
傷害	768	456	-312
殺人	38	31	-7
恐喝	184	127	-57
車両盗難	172	113	-59
車両強盗	10	10	0
強姦	642	221	-421
交通事故死	308	337	+29
行方不明	24	46	+22
誘拐	0	0	0
合計	4,053	2,863	-1,190



2024 年 4 月から 6 月における主要犯罪発生件数は、2023 年の同時期と比較して大幅に減少しました。2022 年 3 月に発効、現在も継続中である、「例外措置体制（憲法で保障される権利の一時的制限措置）」によりギャングの取締りを強化したことで、全ての犯罪が減少傾向となっています。しかし、当国は人口比では依然として日本よりも犯罪が多い国であるため、基本的な防犯対策を継続していただき、十分に注意するようお願いいたします。また、前期比と比較して交通事故死の件数が増加しているため、車両運転時はスピードを抑え、車間間隔を空け、安全運転を心がけるようお願いいたします。

2. 邦人被害事案

日本人の被害は報告されていません。

3. テロ・爆弾事件発生状況

日本人の被害は報告されていません。

4. 誘拐・脅迫事件発生状況

日本人の被害は報告されていません。

5. 日本企業の安全に関わる諸問題

特に報告はありません。

6. 治安関連報道

(1) 「例外措置体制（憲法で保障される権利の一時的制限措置）」の期間延長（4月10日、5月10日及び6月7日付ディアリオ・エルサルバドル紙）

4月9日、5月9日及び6月7日の各月、当国議会は、例外措置体制（憲法で保障される権利の一時的制限措置（30日間））の期間延長を承認した。

例外措置体制によって、これまで拘束されたギャングは8万人以上、車両8,122台以上、携帯電話20,140台以上、銃器3,965丁以上が押収された。また、ブケレ政権が発足した2019年6月から現在までに、殺人事件が無い日は合計628日間となり、そのうち例外措置体制下での殺人事件が無い日は合計518日間となった。

(2) 例外措置体制下における押収物及びギャング拘束数等（5月14日付ディアリオ・エルサルバドル紙）

例外措置体制が発令された2022年3月27日から2024年5月8日までの間に、ギャングを80,044人拘束、麻薬157,389,014ドル相当、現金28,535,940ドルを押収し、ギャングの資金源に打撃を与えた。

検察庁（FGR）の統計によると、例外措置体制中に、ピストル、リボルバー、ライフル、マシンガン、ショットガン、カービン銃、手榴弾などの様々な種類の銃器4,088丁を押収した。FGRは、これらの武器は「犯罪や、住民を脅かすために使用されていた」と報告した。

さらに、犯罪活動の移送手段として使用されていた自動車、バイク、バス、タクシーなど、

様々な種類の車両 8, 551 台を押収した。また、携帯電話を 20, 448 台押収し、これらの機器に含まれる情報から、多くのギャングメンバーを有罪にすることが可能となった。

FGR の統計によると、拘束されたギャング 80, 044 人のうち、「マラ・サルバトルーチャ」が 55, 114 人、「バリオ 18」のレボルシオナリオスが 10, 258 人、スレーニョスが 14, 192 人、「マオマオ」や「マキナ」などのその他の組織が 531 人であった。

拘束されたギャングが多い県として、サンサルバドル県 22, 210 人（「マラ・サルバトルーチャ」10, 793 人、「バリオ 18」11, 159 人、その他の組織 258 人）、次いでソンソナテ県 9, 780 人（「マラ・サルバトルーチャ」7, 224 人、「バリオ 18」2, 547 人、その他の組織 9 人）、ラ・リベルタ県 8, 763 人（「マラ・サルバトルーチャ」7, 236 人、「バリオ 18」1, 477 人、その他の組織 50 人）であった。

（３）サンサルバドル市西部アポパ区（危険レベル 2 地区）での犯罪地域コントロール計画第 5

フェーズ「摘出」の実行（5 月 28 日付ディアリオ・エルサルバドル紙）

5 月 25 日、サンサルバドル市西部アポパ区にあるティカル 1 ～ 3 地区、バジエ・デル・ソル地区、ラ・チントック地区、5 月 27 日にマドレ・ティエラ地区、ラ・ポンデロサ地区及びサン・レオナルド地区の 3 つの居住区を対象に、犯罪地域コントロール計画の第 5 フェーズ「摘出」を実行した。治安部隊が各地区を掌握したため、住民は平穏を取り戻した。

同作戦では、兵士 2, 000 人、警察 1, 000 人が動員され、各地区の車両や住居を厳密に捜査した。昨日（27 日）までに、「バリオ 18」のギャングメンバーを少なくとも

4 名拘束し、麻薬密売に関連した犯罪者を 3 名拘束した。住民からの通報が、ギャングメンバーの居所を突き止める決め手となっている。

（４）交通事故の増加（６月３日付ラ・プレッサ・グラフィカ紙）

交通事故被害者のための保険基金（FONAT）の公式サイトによると、2024 年 1 月 1 日から 6 月 1 日までの交通事故発生件数は、合計 8, 108 件であり、昨年同時期と比較して 805 件増加した。また、交通事故による負傷者は 411 名増加し、死亡者は 75 名増加した。

同サイトによると、交通事故の主な原因は、運転手の不注意、次いで車線のはみ出し、交通標識無視、車間距離不保持である。

以上